

令和3年度 市民提案型協働事業 報告書

まち中の自然 ホタルで復活・発見 そしてふれあい！

環境保全会議あいづ ECA

事業の目的

コロナ禍が続き人間の交流が薄れる今日、次の様な声を多く聞いた。

- ・ 日本の生活文化に身近な存在だったホタルがまち中から消えてしまい、昔の様な環境にしてほしい。
- ・ 近くの場所で家族とホタルを見たり、こども達と遊ぶことは楽しくいい思い出になるが今ではできない。

かつて日本の生活文化に身近な存在だったホタルがまち中から消えてしまった。この協働事業で地域を巻き込み、ホタルを復活させたい。みんなで鑑賞を楽しみ、地域コミュニティーの醸成につながる場所として会津の歴史と観光の拠点として知られている御薬園とその周囲をホタルが飛び交う環境にする。そのため、協働事業を通して調査・整備をおこなう。ホタルの飛翔次期は地域民や子供会鑑賞会を実施し、継続して一緒に保全活動をする。また、整備後は継続して保全を図り「地区民ホタル保全会」の立ち上げと運営のためのフォローを行う。

具体的な取組に関する協働（役割分担・組織）

ECAの役割 （まち中ホタル再生委員会）

- ・ 御薬園周囲水路や堀を周辺住民と調査し環境を把握する
- ・ 学習会の開催、講師派遣
- ・ ホタル、カワニナ採取とホタルの産卵、及び幼虫の生育、放流
- ・ カワニナの購入と生育、放流
- ・ 成果や課題のとりまとめ

関連する団体、機関

喜多方夢ホタル夢づくり会・北会津まちづくり推進課・御薬園
会津観光ビューロー・湯川を守る会・南千石町内会、御薬園町内会
（町内会環境美化委員会、こども会）

環境生活課の役割 （バックアップ）

- ・ この事業の“場”の供与の支援
- ・ 事業に伴う関係機関との調整支援
- ・ 活動に関する必要物品援助
- ・ 協働による調査や整備作業補助
- ・ 市のホームページ、市政だよりに成果や課題を公表

関連する市の部署

環境生活課・観光課・道路課・教育委員会文化課・同学校教育課

事業実施内容

ホタル観察会の開催、地区住民による ホタル保全組織の立ち上げ

- ・ 4/25 町内会、子ども会への説明（南千石町・御薬園東町地区）
- ・ 4/25 ～ 29 アンケートの実施 17 世帯
- ・ 7/3 第 1 回ホタルの生育学習と観察会開催 参加者：約 40 名
- ・ 11/27 第 2 回ホタル幼虫、カワニナ観察と放流会開催 参加者：約 10 名



事業実施内容

ホタル生育と保全の取組をしている 地元団体を視察

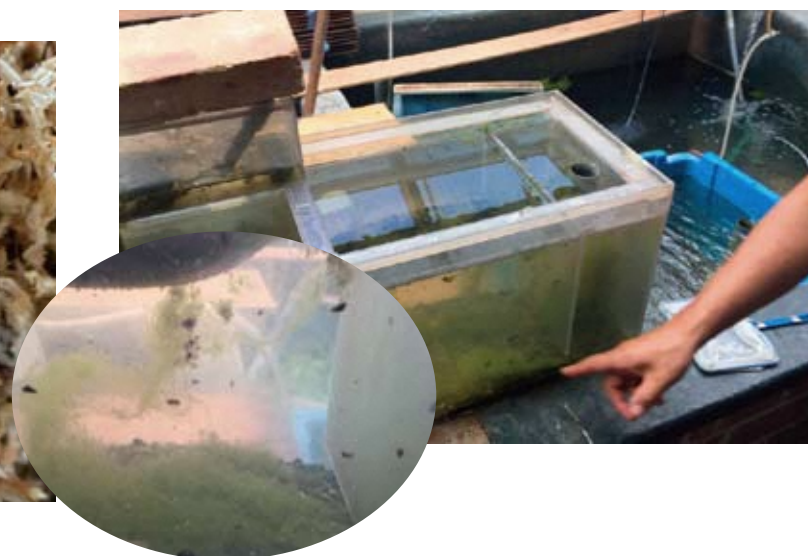
- ・ 6/1 喜多方夢ホタルの会視察
- ・ 6/2 北会津支所まちづくり課飼育棟、ホタルの森公園視察
- ・ 6/20 北会津子ども村幼保園視察



事業実施内容

餌の採取や産卵箱の作製など、ホタルを 成育するための準備

- ・ 6/1 ホタル生育場所の確保、清掃の準備
- ・ 6/5~6 生育棚組立、養成箱・ポンプの設置、水槽の清掃と水路循環調整装置の整備など
- ・ 6/9 水路探索と調査と養育のためのカワニナ採取 30 数匹
- ・ 6/27 ゲンジホタル採取 約 20 数匹（内メス 3 匹）

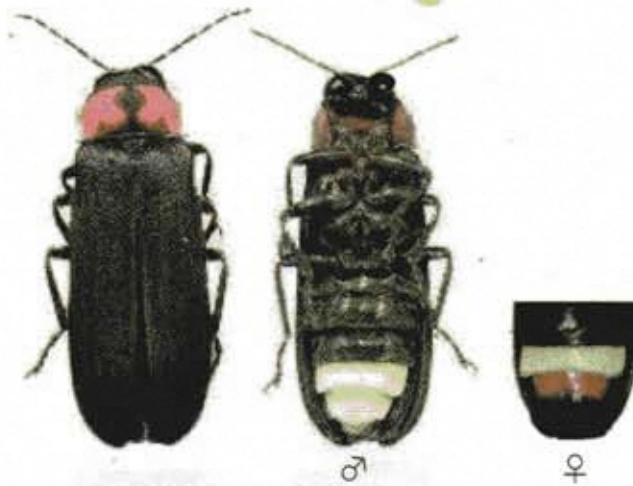


ホタルの幼虫の水路への放流や 成育環境の保全

- ・ 7/3 カワニナ（1,200 匹以上 1 kg）の放流 参加者：約 40 名
- ・ 8/11 御薬園側面の東側水路調査と整備 参加者：約 6 名
- ・ 11/27 ホタル幼虫（3,000 匹）、
カワニナ（2,400 匹以上 2 kg）放流 参加者：約 10 名



ホタルの一生



ーゲンジボタルー

45日間、土の中で
すごし、成虫とな
り夜に出てくる

雨が降って土が
柔らかくなった
夜の間に上陸し
土の中にもぐり
サナギになる

約9ヶ月間水中で生活する

巻貝のカワニナを食べて成長する

川岸の水ごけの上に
0.5mmほどの卵を
500~1000個産み
約1ヶ月後に1.5mm
ほどの幼虫が、孵化
する

事業の効果

- ・ 御薬園周辺でホタル 10 数匹確認、カワニナ・ホタル幼虫を放流したことで、今年の 6 ～ 7 月頃に成虫となり飛翔するホタルが増えることが期待できる。
- ・ ホタルに取り組む団体の視察で学んだことをこの事業に取り組むことで、ホタルの幼虫から成虫までの成育のノウハウを蓄積することができた。
- ・ 地域や御薬園、周辺の小売店、各種団体と協議を重ねることにより、連携・協働体制を構築することができた。
- ・ 子どもを含めた地域住民を対象とした学習会や観察会は、地域での環境保全に対する機運の高まりを感じることができた。
また、「南千石町・御薬園東町地区ホタル保全会」の設立に向けて、両町内会代表と協議中である。

課題と反省点

- ・ 幼虫の放流会 11 月末は遅すぎた。(8 月後半～9 月初めが最適)
- ・ この地区民によるホタル保全会は未定だが、今年のホタル観察会を契機に保全会立ち上げを協議をしていきたい。
- ・ 川の調査、ホタル、カワニナの採取、産卵からの養育などを子供たちと一緒に考え保全していきたい。
- ・ 事業の成果を生かして他地域での取り組みを検討し、具体化したい。



展望

- ・ こども達と一緒に調査、採取、養育、放流をして会津のホタル環境の保全活動を育てたい。
- ・ 会津のホタル保全活動団体と観察会などでコラボ企画をしたい。
喜多方夢ホタル夢づくり会・北会津まちづくり推進課
- ・ まち中ホタルの魅力は自然の魅力、地域の魅力、そして会津の魅力につなげたい。

まちなかホタル再生事業委員会の理想構図

御薬園ホタル保全会

南千石町町内会
御薬園東町内会
子ども会
環境美化委員会

鶴ヶ城北内堀丸ホタル保全会

鶴ヶ城を守る会
北出丸大通り活性化協議会

まちなかホタル再生事業委員会

環境保全会議あいづECA
環境生活課、観光課、まちづくり整備課
道路課、教育委員会文化課、同学校教育課
喜多方ホタル夢づくり会
北会津支所まちづくり推進課
ホタル保全団体、グループなど

次の展開

〇〇〇〇保全会
例えば飯盛山戸ノ口堰ホタル保全会

まちなかホタル観察委員会

市内の学校関係で構成

まちなかホタル愛好会

ホタルが好きな方ならだれでも
観賞、応援、撮影、研究など
保全活動に支援される方



ご清聴ありがとうございました。